



FARONICS
DATAIGLOO™

AUTOMATED Data Redirection

ユーザガイド



FARONICS™
Intelligent Solutions for ABSOLUTE Control

www.faronics.com



最新更新日：2023年1月

© 1999 – 2023 Faronics Corporation. All rights reserved. Faronics, Deep Freeze, Deep Freeze Cloud, Faronics Deploy, Faronics Core Console, Faronics Anti-Executable, Faronics Anti-Virus, Faronics Device Filter, Faronics Data Igloo, Faronics Power Save, Faronics Insight, Faronics System Profiler, WINSelect は、Faronics Corporation の商標および / または登録商標です。その他すべての会社名および製品名はそれぞれの所有者の商標です。



目次

序文	5
重要な情報	6
Faronicsについて	6
製品マニュアル	6
テクニカルサポート	7
はじめに	9
システム要件	10
Data Iglooのインストール	11
Data Iglooのインストール	12
Data Iglooへのアクセス	14
Data Iglooの使用	15
Data Iglooの概要	16
Deep Freezeのステータス	17
ThawSpace	18
ユーザプロファイルのリダイレクト	19
ユーザプロファイルのリダイレクト(既存のユーザプロファイル用)	20
新規作成したユーザプロファイルの自動リダイレクト	23
リダイレクトされたユーザプロファイルの削除	23
フォルダのリダイレクト	26
例	27
フォルダの新規リダイレクト	27
リダイレクトされたフォルダの削除	30
レジストリキーのリダイレクト	31
レジストリキーのリダイレクト	32
リダイレクトされたレジストリキーの削除	35
Data Iglooの終了	36
Data Iglooのイベントの記録	37
Data Iglooエラーダイアログ	37
Data Iglooログファイル	37
コマンドライン	38
Data Iglooのアンインストール	41
インストーラを使ったData Iglooのアンインストール	42
Windowsの[プログラムの追加と削除]を使ったData Iglooのアンインストール	44
付録 A 非表示の ThawSpace へのリダイレクト	45
付録 B イメージングに基づいてインストールする場合の最適の方法	47



付録 C	リアルパーティションにユーザプロファイルをリダイレクトする例	49
付録 D	リアルパーティションにプログラムをリダイレクトする例	53
付録 E	Data Igloo と Microsoft Security Essentials の使用	59
付録 F	Data Igloo を使ったイベントログのリダイレクト	63



序文

本ユーザガイドは、Data Igloo のインストール方法と使用方法について説明します。

トピック

[重要な情報](#)

[テクニカルサポート](#)



重要な情報

このセクションにはお客様の Faronics 製品についての重要な情報が記載されています。

Faronics について

Faronics は、複雑な IT 環境の管理を容易にし、セキュリティを確保する、業界屈指のソリューションをお届けしています。Faronics の製品は、システムの可用性を 100 パーセント確保することで、多くの情報技術専門家の日常業務を劇的に改善しました。学校施設をはじめ、医療機関、図書館、政府組織、または法人企業で Faronics の顧客中心の取り組みによるパワフルな革新的テクノロジーを有効にご利用いただいています。

製品マニュアル

Data Igloo のマニュアルは、次のマニュアルで構成されています：

- Data Igloo ユーザガイド - このマニュアルでは製品の使用方法を説明します。
- Data Igloo リリースノート - このドキュメントには新しい機能、既知の問題、解決された問題が記載されています。



テクニカルサポート

当社では、使いやすく、問題のないソフトウェアを設計するためにあらゆる努力を重ねています。万が一、問題が発生した場合は、テクニカルサポートまでご連絡ください。

テクニカルサポート：

www.faronics.com/support

Web:

www.faronics.com





はじめに

Data Igloo は Deep Freeze との連携を目的として作成されました。Deep Freeze はコンピュータを保護して、再起動時に元の状態に復元します。Data Igloo はユーザプロファイル、フォルダ、レジストリキーをお使いのコンピュータの別の場所にリダイレクトして、コンピュータが Deep Freeze で保護されているときに再起動しても、データの維持を可能にするユーティリティです。

Data Igloo は Deep Freeze をインストールしなくても、単体でも使用できます。Data Igloo の GUI を使って NTFS ジャンクションポイントと NTFS シンボリックリンクを簡単に作成できます。

トピック

[システム要件](#)



システム要件

Data Igloo のシステム要件は以下のとおりです。

- Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、または Windows 11 バージョン 22H2 まで (32 ビットおよび 64 ビット)
- Windows Server 2008 R2、2012、2016、2019 または 2022
- Microsoft .NET 2.0 (SP1) 以降
- Deep Freeze Enterprise または Deep Freeze Standard (6.3 以降)。この要件は Data Igloo と Deep Freeze を使用する場合にのみ適用されます。Data Igloo は Deep Freeze をインストールしなくても、単体でも使用できます。



Data Igloo のインストール

本章では、Data Igloo のインストール方法について説明します。

トピック

[Data Igloo のインストール](#)



Data Igloo のインストール

Data Igloo をインストールするには、次の手順を実行します。



お使いのコンピュータに .NET がインストールされていない場合、インストーラによりインターネットから自動的に .NET がダウンロードされてインストールされます。コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。

1. Faronics_IGS.exe をダブルクリックします。[次へ] をクリックします。



2. 使用許諾契約書を読み、同意します。[次へ] をクリックします。





3. ユーザ名と組織を入力します。[次へ]をクリックします。



4. Data Igloo のデフォルトの場所は、C:\Program Files\Faronics\Data Igloo Standard です。Data Igloo のインストール場所を変更するには、[変更...]をクリックします。[次へ]をクリックします。





5. [インストール] をクリックして、Data Igloo をインストールします。



6. [完了] をクリックして、インストールを終了します。



Deep Freeze のステータスが保護状態のときでも Data Igloo をインストールすることができますが、再起動後は、リダイレクトされたものは残りません。これはリダイレクションのテストに有効です。Deep Freeze のステータスが保護状態のときは、Data Igloo をアンインストールまたは修復することはできません。

Data Igloo へのアクセス

Data Igloo は、[スタート] > [プログラム] > [Faronics] > [Data Igloo] の順にクリックしてアクセスできます。



Data Igloo の使用

本章では、Data Igloo の使用方法について説明します。

トピック

- [Data Igloo の概要](#)
- [Deep Freeze のステータス](#)
- [ユーザプロファイルのリダイレクト](#)
- [フォルダのリダイレクト](#)
- [レジストリキーのリダイレクト](#)
- [Data Igloo の終了](#)
- [Data Igloo のイベントの記録](#)
- [コマンドライン](#)



Data Igloo の概要

Data Igloo が起動すると、以下の画面が表示されます。



- Deep Freeze ステータスアイコン — Deep Freeze のステータスが表示されます。
- タブ — Data Igloo には [ユーザーファイルのリダイレクト] タブ、[フォルダのリダイレクト] タブ、[レジストリキーのリダイレクト] タブがあります。これらのすべてのタブについて、本ユーザガイドで後述します。
- ヘルプ — オンラインヘルプが起動します。
- アップデートをチェックする — Data Igloo の新しいバージョンがあるかどうかをチェックできます。
- バージョン情報 — Data Igloo のバージョンとエンドユーザライセンス契約に関する情報が表示されます。
- ステータスバー — Data Igloo 画面の下部にあるステータスバーには以下の情報が表示されます。
 - > ユーザ名 — 現在ログインしているユーザアカウントのユーザ名。
 - > オペレーティングシステム — オペレーティングシステムとサービスパック (該当する場合)。



管理者権限のあるユーザのみが Data Igloo を使用できます。



Deep Freeze のステータス

Deep Freeze はコンピュータを保護して、再起動時に元の状態に復元します。Deep Freeze がコンピュータ上にインストールされた後は、コンピュータの設定へのいかなる変更も、それが偶然によるか悪意によるものかに関わりなく、そのセッションでのみ有効となります。Deep Freeze の詳細は、<http://www.faronics.com/deepfreeze> をご覧ください。

Data Igloo には以下の Deep Freeze ステータスが表示されます。

アイコン	定義
	Deep Freeze は Frozen 状態になっています — コンピュータに対して行われた変更は、コンピュータが再起動すると失われます。
	Deep Freeze は Thawed 状態になっています — コンピュータに対して行われた変更は、コンピュータが再起動しても維持されます。
	Deep Freeze がインストールされていません — このコンピュータには Deep Freeze がインストールされていません。
	Deep Freeze Seed がインストールされています — このコンピュータには Deep Freeze Seed がインストールされています。
	Deep Freeze は Thawed と Locked です — Deep Freeze は Thawed 状態になっており、キーボードとマウスは無効になっています。
	Deep Freeze ワークステーションのタスクが進行中です。



ThawSpace

ThawSpace は DeepFreeze の機能の 1 つです。ThawSpace はプログラムの保管、ファイルの保存、恒久的な変更などに使われる仮想パーティションです。ThawSpace に保存されたすべてのファイルは、コンピュータが Frozen 状態であっても、再起動後にも維持されます。

ThawSpace は、データを保存する前に Deep Freeze で作成する必要があります。

Data Igloo では、ユーザプロファイルと特定のフォルダを非保護スペースまたはコンピュータ上の NTFS ボリュームまたはパーティションにリダイレクトできます。Deep Freeze では非表示の ThawSpace を作成できます。ThawSpace の表示または非表示の詳細は、「[付録 A, 非表示の ThawSpace へのリダイレクト](#)」を参照してください。



ユーザプロファイルのリダイレクト

ユーザプロファイルのリダイレクト機能により、ユーザプロファイル全体をコンピュータ上の NTFS ボリュームまたはパーティションにリダイレクトできます。Deep Freeze がインストールされている場合、再起動後にも、これにより、インターネットのお気に入り、マイドキュメント、デスクトップ情報などの新規または修正済みユーザデータを維持することができるため便利です。



現在ログインしているユーザのプロファイルのリダイレクトすることはできません。

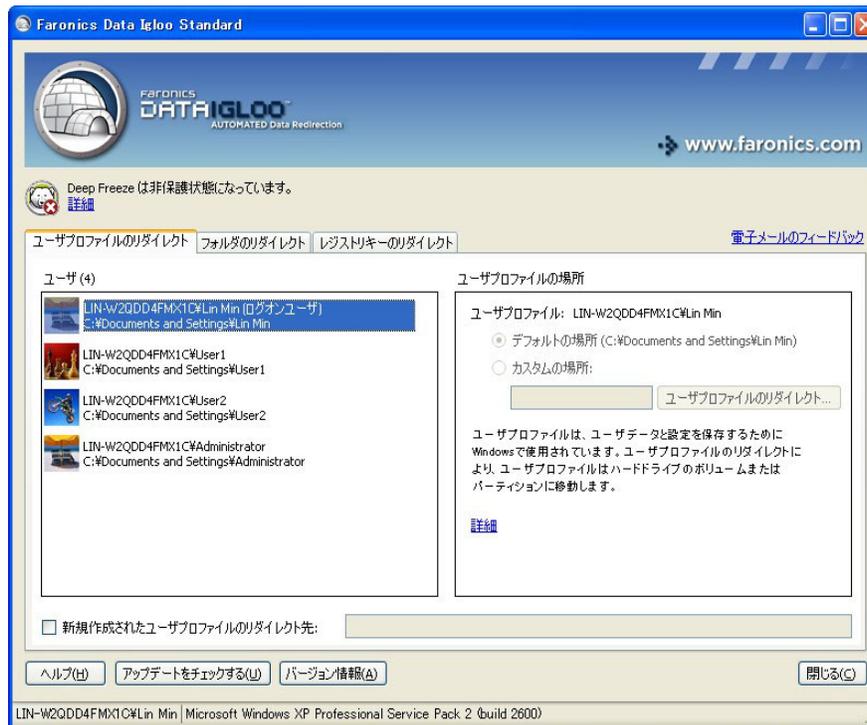


ソースとターゲットの両方のドライブが NTFS 形式のパーティションでなければなりません。



リダイレクト中にエラーが発生したら、Data Igloo ではデータまたは設定に変更を加えずに、元の状態に戻されます。

以下のような [ユーザプロファイルのリダイレクト] タブが表示されます。





ユーザプロファイルのリダイレクト（既存のユーザプロファイル用）

お使いのコンピュータのデフォルトの場所から別のドライブにユーザプロファイルのリダイレクトするには、以下の手順を実行します。

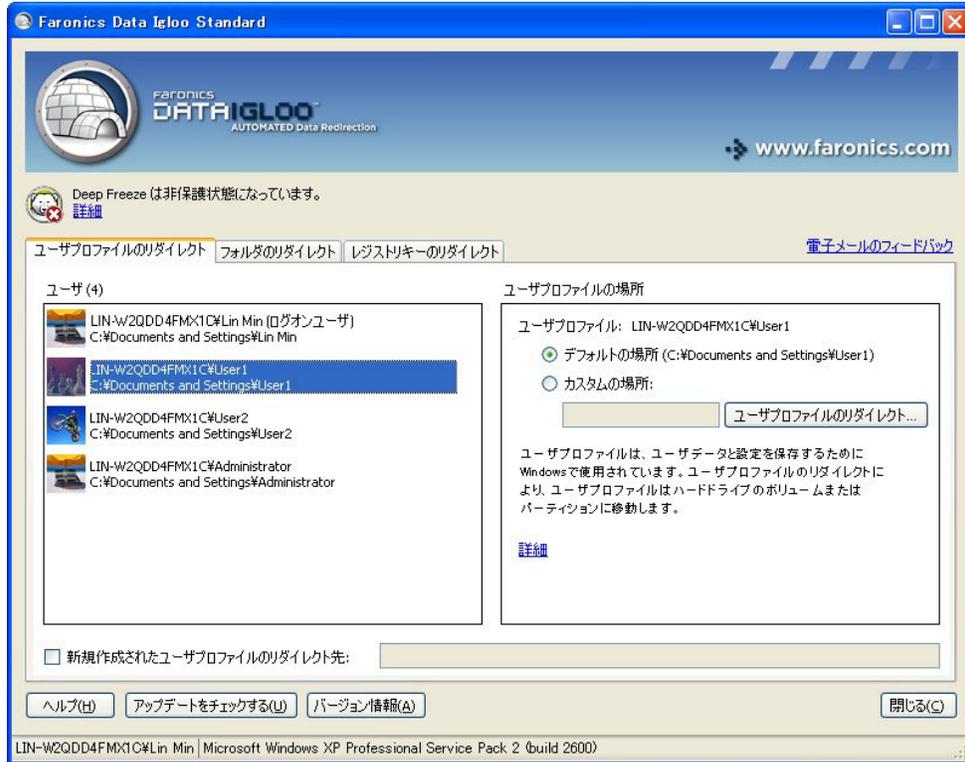
1. Deep Freeze のステータスが Thawed 状態であることを確認します。
2. [ユーザ] ペインからユーザを選択します。
3. この手順はオプションです。新規作成したユーザプロファイルを ThawSpace にリダイレクトするには、[新規作成したユーザプロファイルのリダイレクト先:] チェックボックスを選択します。ThawSpace の場所を参照して選択します。新規ユーザプロファイルを作成すると、選択した場所に自動的にリダイレクトされます。



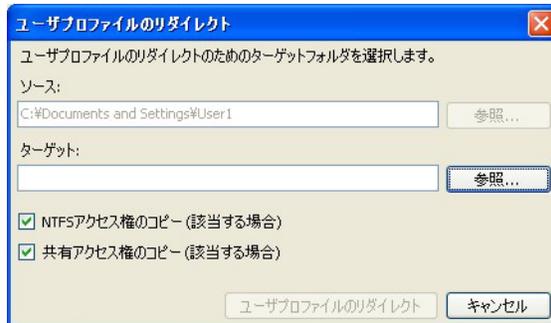
[新規作成したユーザプロファイルのリダイレクト先:] チェックボックスを選択すると、[レジストリキーのリダイレクト] タブの [レジストリキーの変更のリダイレクト先:] チェックボックスも自動的に選択されます。詳細は、「[レジストリキーのリダイレクト](#)」を参照してください。



4. [ユーザープロファイルの場所] ペインで [カスタムの場所] を選択します。[ユーザープロファイルのリダイレクト] をクリックして、場所を選択します。



5. [ソース] が自動的に入力された状態で、[ユーザープロファイルのリダイレクト] ダイアログが表示されます。これは読み取り専用フィールドで、編集できません。

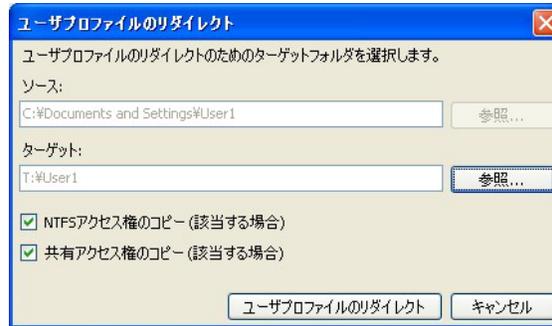


6. [参照] をクリックして、ターゲットを選択します。[フォルダの参照] ダイアログでターゲットを選択して、[OK] をクリックします。

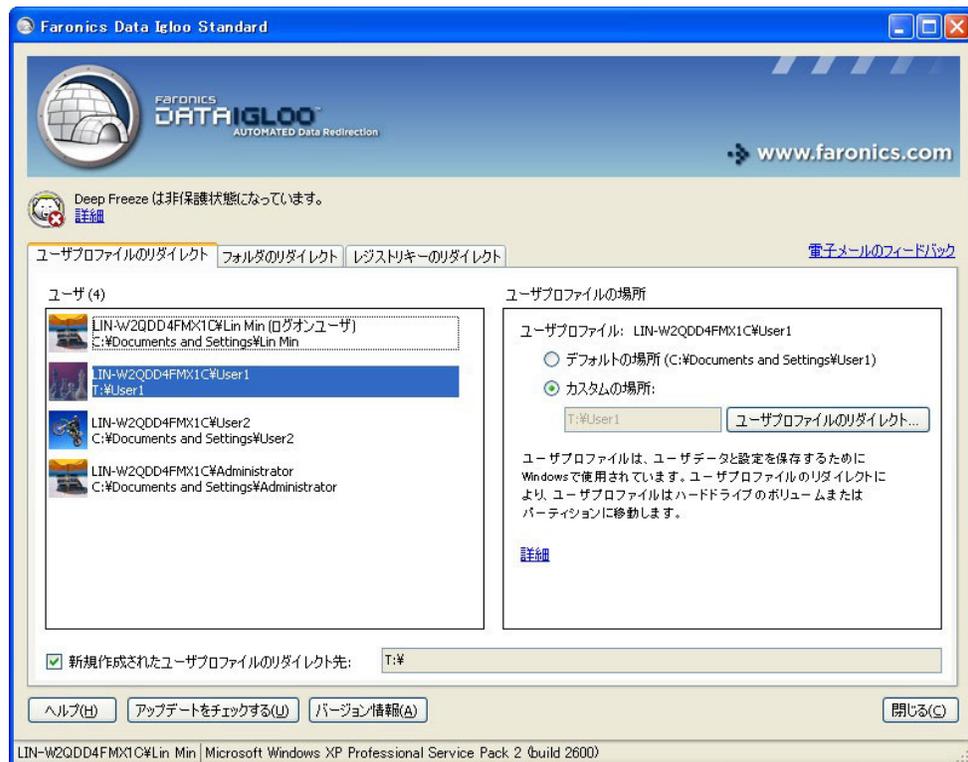




ターゲットフィールドにフォルダのパスを入力することこともできます。



- > [NTFS許可のコピー(該当する場合)]チェックボックスを選択して、NTFS許可をコピーします。NTFSファイルシステムによってソースフォルダに適用されるセキュリティは、ターゲットフォルダにコピーされます。セキュリティと共有許可はターゲットフォルダ内のファイルとフォルダにも適用されます。
 - > [共有許可のコピー(該当する場合)]チェックボックスを選択して、ユーザプロファイルフォルダの共有許可をコピーします。
7. [ユーザプロファイルのリダイレクト]をクリックして。
 8. Data Igloo によりファイルがスキャンされ、エラーが発生すると、エラーダイアログに表示されます。エラーダイアログに関する詳細は、「[Data Igloo エラーダイアログ](#)」を参照してください。エラーが表示されなければ、進捗状況を示すバーが表示され、ユーザプロファイルがターゲットの場所にリダイレクトされます。





Deep Freeze のステータスが Frozen 状態でも、ユーザプロファイルをリダイレクトできます。ユーザプロファイルの関連ファイルとフォルダは、Deep Freeze のステータスが Frozen 状態でも正常に移動します。ただし、ユーザプロファイルのリダイレクトは、コンピュータが再起動すると維持されません。

新規作成したユーザプロファイルの自動リダイレクト

Data Igloo は新規作成したユーザプロファイルを自動的にリダイレクトするオプションを提供します。この機能により、新規作成されたユーザプロファイルが選択した場所に自動的にリダイレクトされるため、管理者の時間と労力が節約できます。

新規作成したユーザプロファイルを自動的にリダイレクトするには、以下の手順を実行します。

1. [ユーザプロファイルのリダイレクト] タブを開きます。
2. 新規作成したユーザプロファイルを ThawSpace にリダイレクトするには、[新規作成したユーザプロファイルのリダイレクト先:] チェックボックスを選択します。

- > レジストリキーの変更のリダイレクト先 - [参照] をクリックして、ThawSpace の場所を選択します。ターゲットフィールドにフォルダのパスを入力することこともできます。レジストリへの変更は選択した場所に自動的にリダイレクトされます。
- > 新規作成したユーザプロファイルのリダイレクト先 - [参照] をクリックして、ThawSpace の場所を選択します。ターゲットフィールドにフォルダのパスを入力することこともできます。新規ユーザプロファイルを作成すると、選択した場所に自動的にリダイレクトされます。
- > パブリックおよびデフォルトのプロファイルのリダイレクト - パブリックおよびデフォルトのプロファイルを選択した場所にリダイレクトするには、このオプションを選択します。

初期設定で、このボックスにはチェックが入っていません。

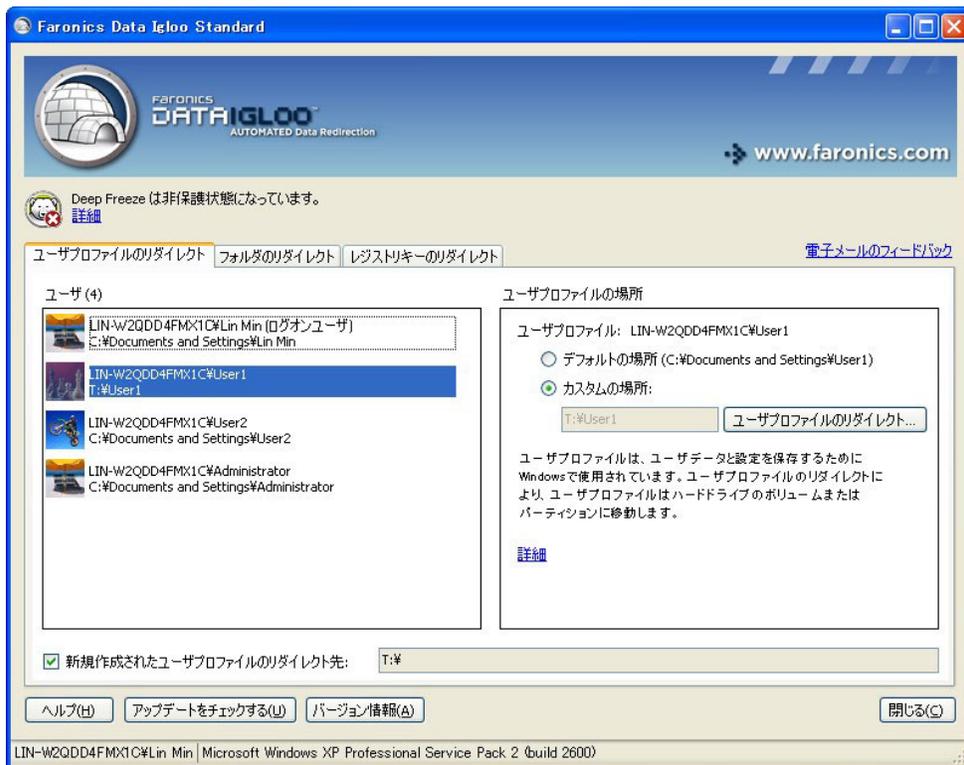
3. [OK] をクリックします。

リダイレクトされたユーザプロファイルの削除

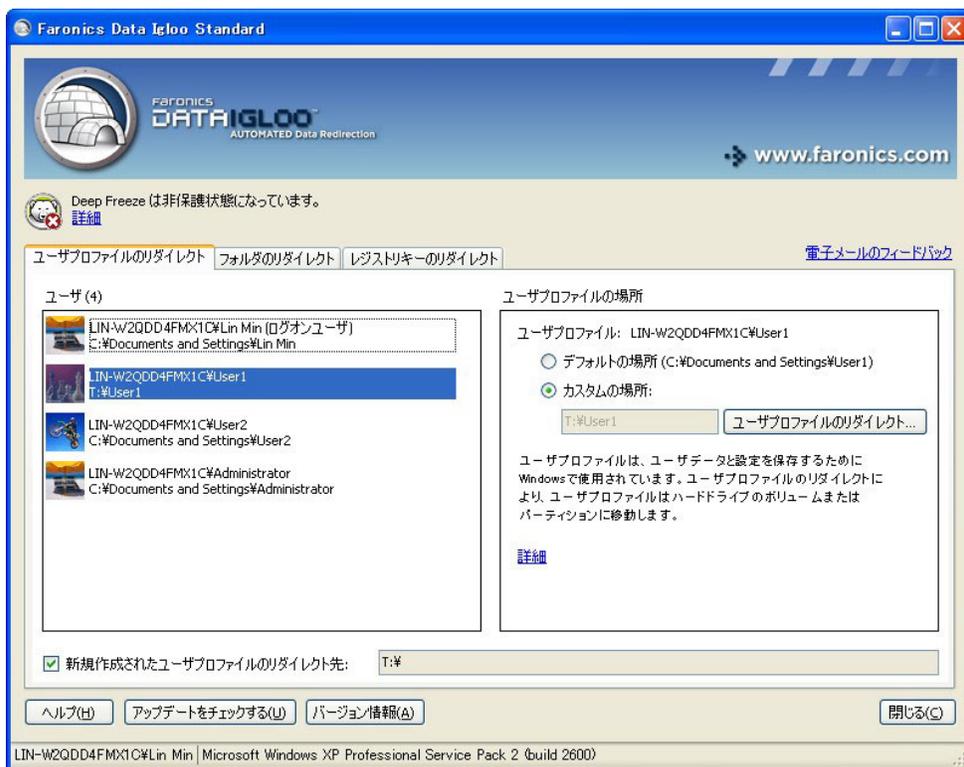
コンピュータ上でこれまでにリダイレクトされたユーザプロファイルを削除するには、以下の手順を実行します。



1. Deep Freeze のステータスが Thawed 状態であることを確認します。
2. これまでにリダイレクトされたユーザプロファイルの中から削除するものを [ユーザ] ペインから選択します。

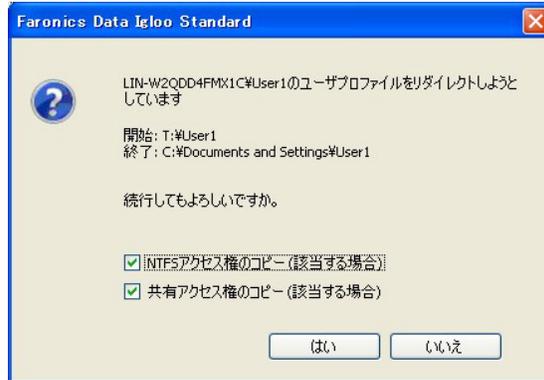


3. [ユーザプロファイルの場所] ペインで [デフォルトの場所] を選択します。





4. ダイアログが表示され、ユーザプロファイルの現在の場所とターゲットの場所が表示されます。[はい]をクリックします。



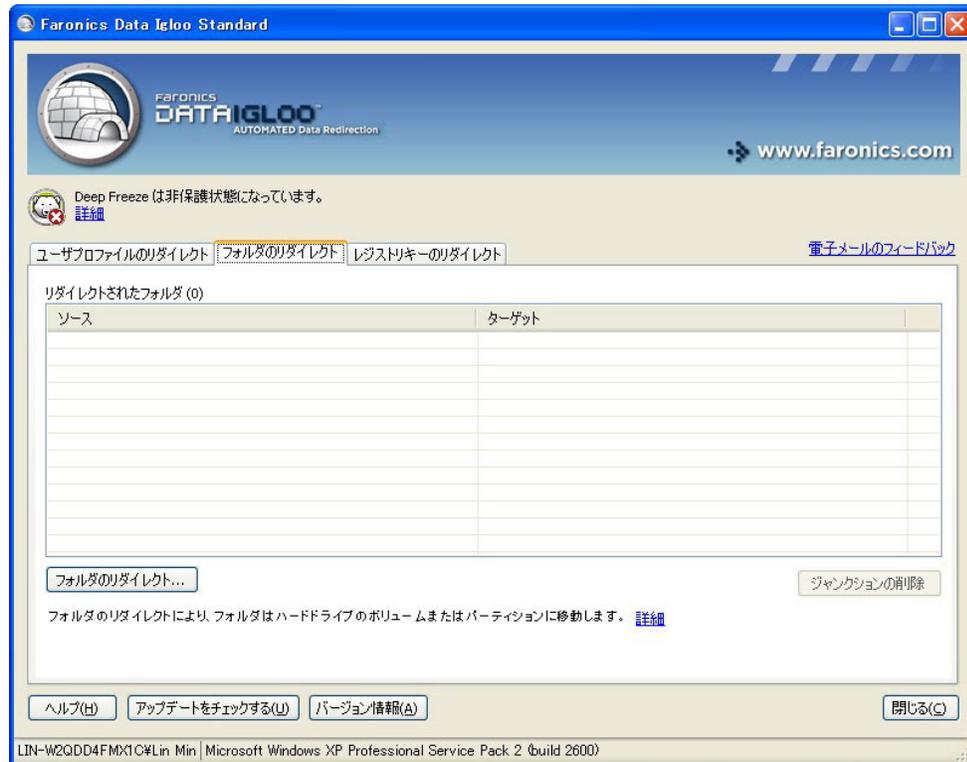
5. 進捗状況を示すバーが表示され、リダイレクトされたユーザプロファイルが削除されます。



フォルダのリダイレクト

フォルダのリダイレクト機能により、コンピュータ上の NTFS ボリュームまたはパーティションにフォルダを移動できます。これは Deep Freeze がインストールされているときに便利です。この機能により、Frozen 状態のドライブのフォルダのデータが常に Thawed 状態のドライブに保存されるため、再起動してもデータが維持されます。

以下のような [フォルダのリダイレクト] タブが表示されます。



Data Igloo では Windows とプログラムファイルのシステムフォルダ、またはそれらのフォルダ内のサブフォルダから、もしくはそれらのフォルダやサブフォルダへリダイレクトできません。



ソースとターゲットの両方のドライブが NTFS 形式のパーティションでなければなりません。



リダイレクト中にエラーが発生したら、Data Igloo ではデータまたは設定に変更を加えずに、元の状態に戻されます。



例

Windows XP を実行しているコンピュータに Deep Freeze をインストールし、C: が Frozen になっている場合、[マイドキュメント] フォルダに保存したファイルは再起動時に消去されます。そのような状況を避けるには、Data Igloo を使って [マイドキュメント] フォルダを Thawed パーティションにリダイレクトできます。

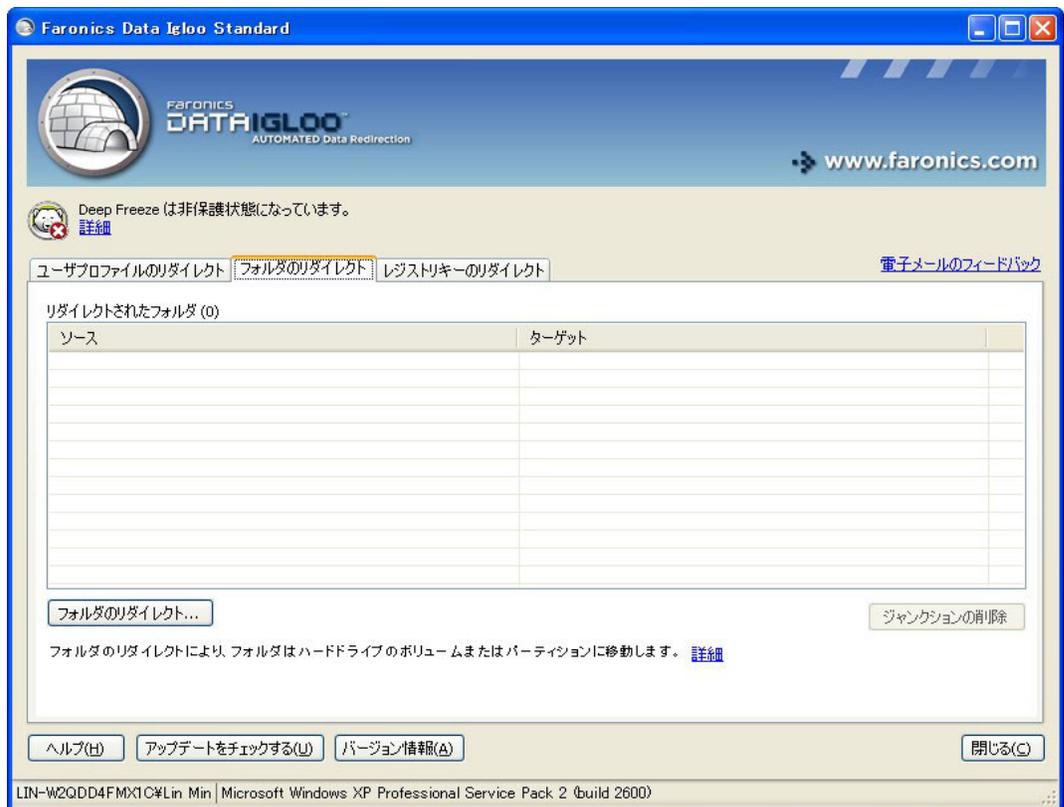
以下の手順を実行します。

1. コンピュータを Thawed 状態で再起動します。
2. C:\Documents and Settings\<ユーザー名>\My Documents を ThawSpace T: にリダイレクトします。
3. コンピュータを Frozen 状態で再起動します。

フォルダの新規リダイレクト

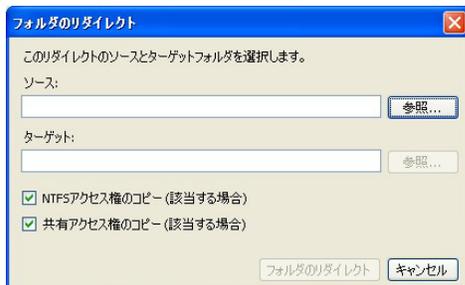
コンピュータ上のフォルダを別の場所にリダイレクトするには、以下の手順を実行します。

1. Deep Freeze のステータスが Thawed 状態であることを確認します。
2. [フォルダのリダイレクト] タブを開きます。[フォルダのリダイレクト...] をクリックします。





3. [フォルダのリダイレクト] ダイアログで [参照] をクリックして、ソースフォルダを選択します。



- > [NTFS許可のコピー (該当する場合)] チェックボックスを選択して、NTFS許可をコピーします。NTFSファイルシステムによってソースフォルダに適用されるセキュリティは、ターゲットフォルダにコピーされます。セキュリティと共有許可はターゲットフォルダ内のファイルとフォルダにも適用されます。
- > [共有許可のコピー (該当する場合)] チェックボックスを選択して、フォルダの共有許可をコピーします。

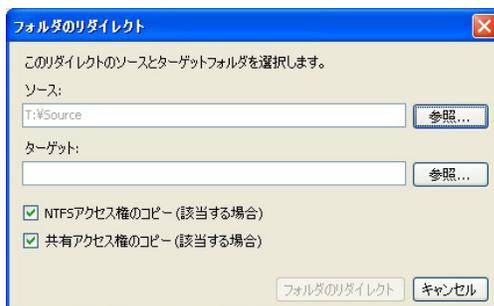


フォルダ内のフォルダとファイルの圧縮と暗号化の属性はコピーされません。

4. [フォルダの参照] ダイアログで、ソースを選択して、[OK] をクリックします。



5. [フォルダのリダイレクト] ダイアログで [参照] をクリックして、ターゲットフォルダを選択します。ターゲットフィールドにフォルダのパスを入力することこともできます。

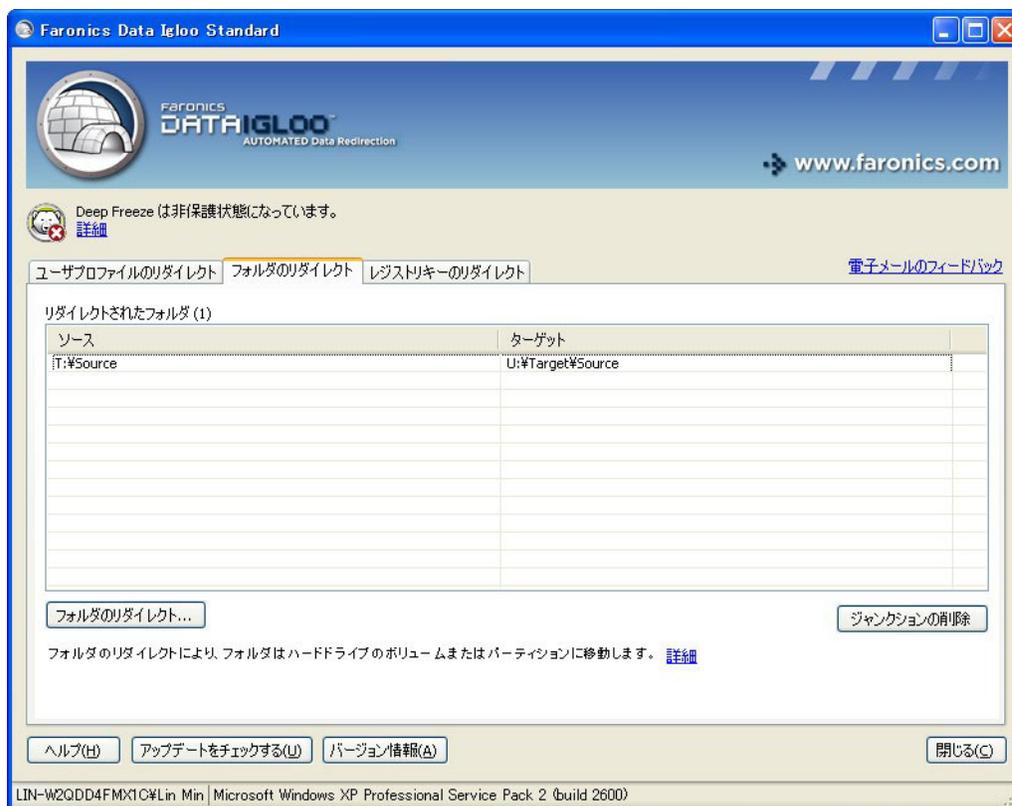




6. [フォルダの参照] ダイアログでターゲットを選択して、[OK] をクリックします。



7. [フォルダのリダイレクト] をクリックします。
8. 進捗状況を示すバーが表示され、フォルダがリダイレクトされます。



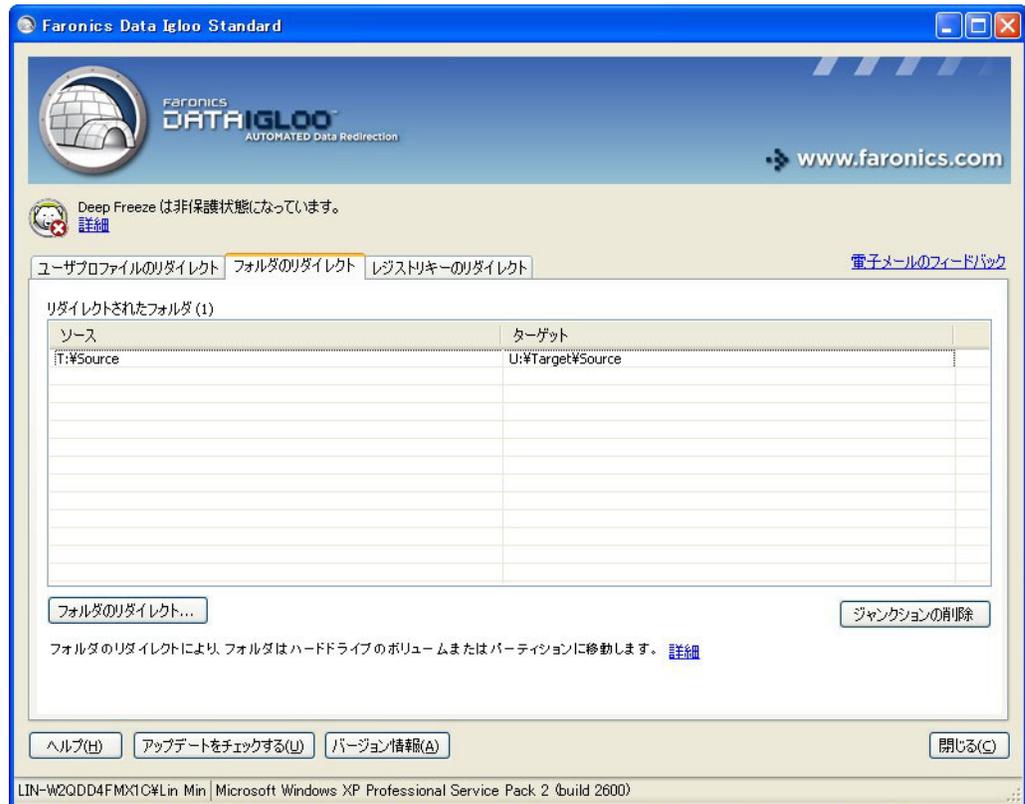
ターゲットドライブにリダイレクトされたフォルダは、親フォルダから許可を継承します。



リダイレクトされたフォルダの削除

コンピュータ上でこれまでにリダイレクトされたフォルダを削除するには、以下の手順を実行します。

1. Deep Freeze のステータスが Thawed 状態であることを確認します。
2. [フォルダのリダイレクト] タブを開きます。
3. 現在リダイレクト済みのフォルダのリストが表示されます。リダイレクトされたフォルダの中から削除するものを選択して、[削除] をクリックします。



4. 構成ダイアログが表示され、フォルダの現在の場所とターゲットの場所を示します。[はい] をクリックして、続行します。



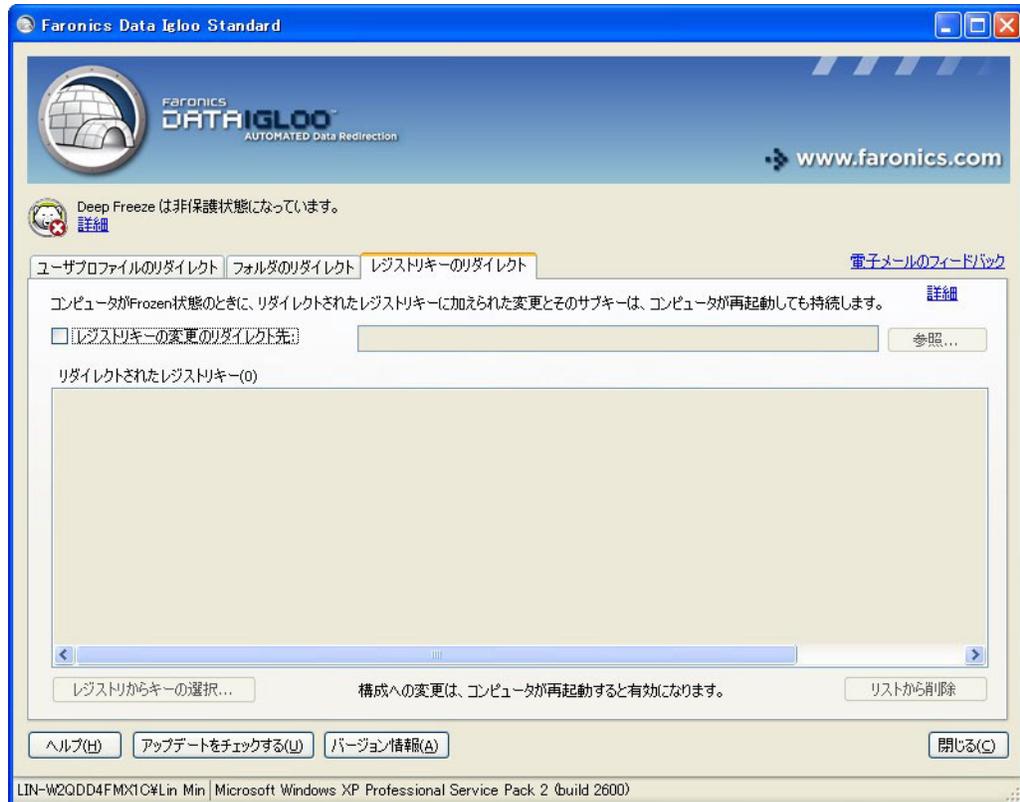
5. リダイレクトされたフォルダが削除されます。



レジストリキーのリダイレクト

[レジストリキーのリダイレクト]タブにより、選択したレジストリキーに発生した変更をThawSpaceにリダイレクトできます。これにより、Deep FreezeのステータスがFrozen状態でも、レジストリキーへの変更が維持されます。Deep FreezeのステータスがThawed状態になると、ThawSpaceに保存されたレジストリキーへの変更は、自動的にレジストリに復元されます。

以下のような[レジストリキーのリダイレクト]タブが表示されます。



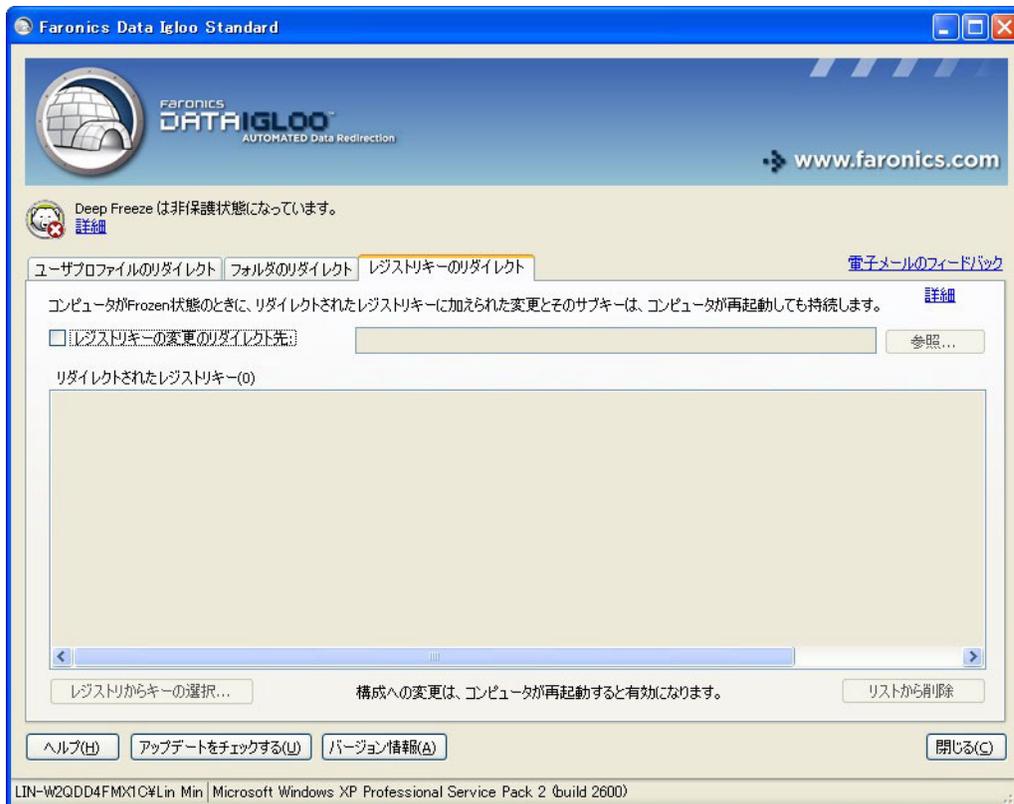
Data Igloo を使ってリダイレクトできるのは、HKEY_LOCAL_MACHINE レジストリキーのみです。



レジストリキーのリダイレクト

レジストリキーのリダイレクトを行うには、以下の手順を実行します。

1. Deep Freeze のステータスが Thawed 状態であることを確認します。
2. [レジストリキーのリダイレクト] タブを開きます。[レジストリキーの変更のリダイレクト先:] チェックボックスを選択します。

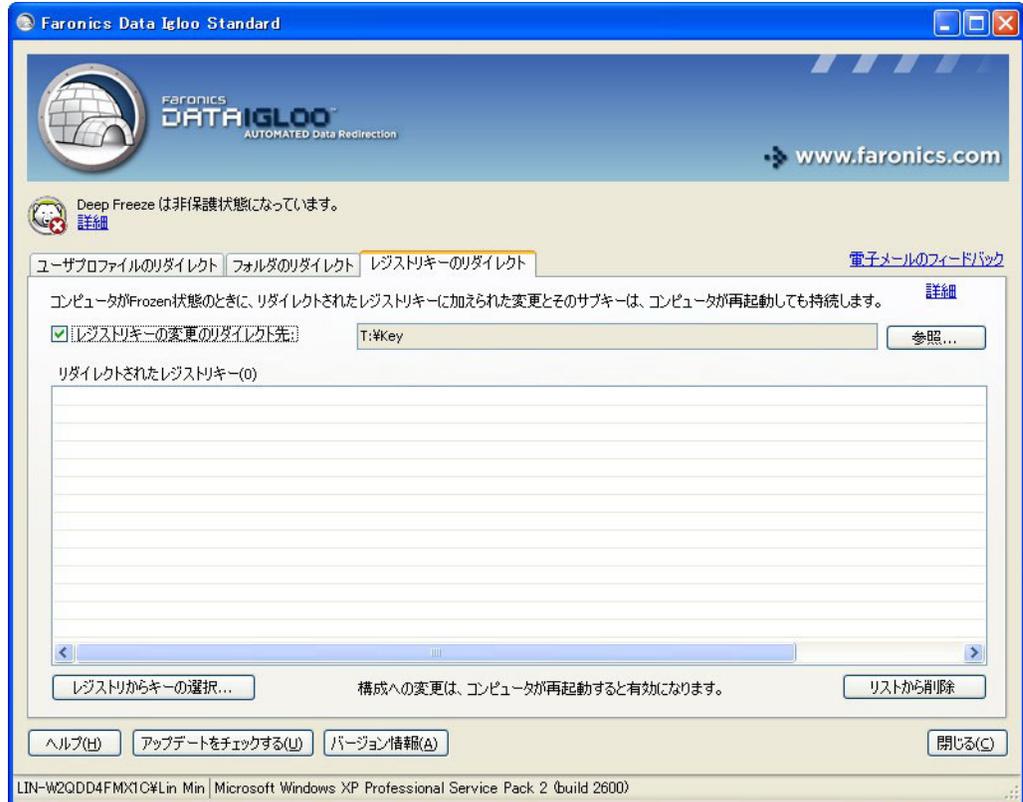


3. [参照] をクリックして、Thawed 状態のドライブの場所を選択します。





4. [レジストリからキーの選択 ...] を選択します。

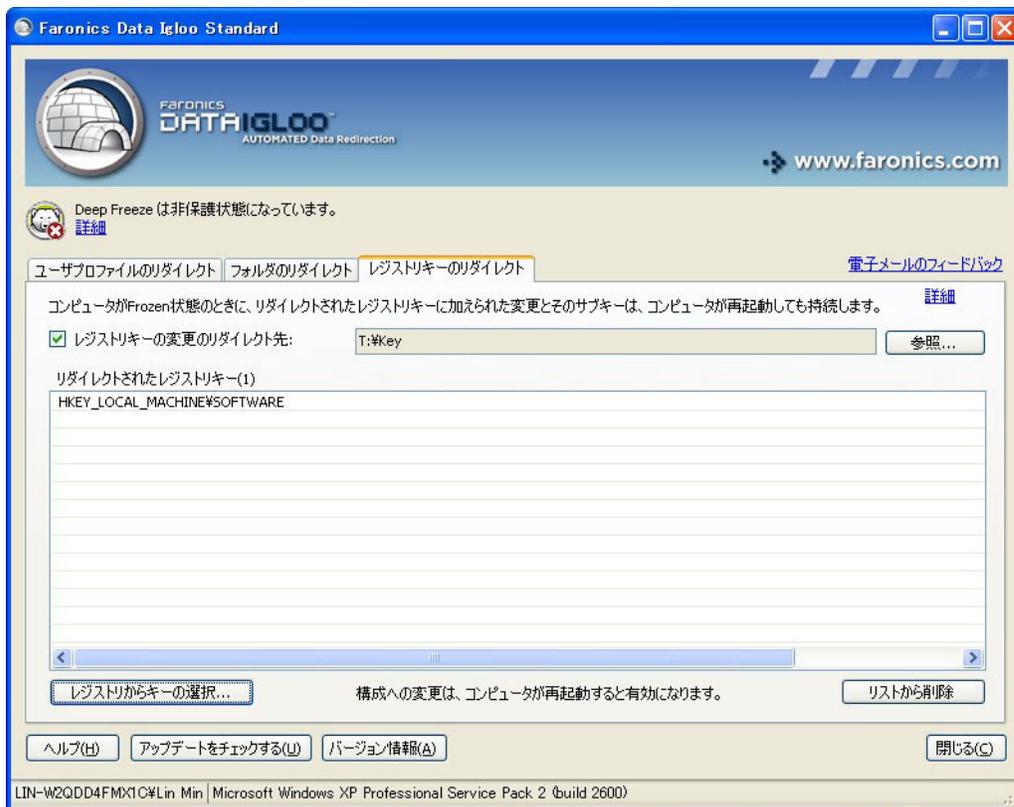


5. [レジストリキーの参照] ダイアログでレジストリキーを選択して、[リダイレクト] をクリックします。





6. レジストリキーは Thawed 状態のドライブにリダイレクトされます。



7. コンピュータを Frozen 状態で再起動します。



構成に加えられた変更は、コンピュータが再起動したときのみ適用されます。レジストリキーのリダイレクトは、コンピュータが Frozen 状態で再起動されると有効になります。



リダイレクトする特定のレジストリキーを選択します。親レジストリキーを選択すると、リストから子レジストリキーが削除されます。



[レジストリキーのリダイレクト] タブで設定を変更するには、Deep Freeze のステータスは Thawed 状態でなければなりません。レジストリキーのリダイレクトは、Deep Freeze のステータスが Frozen 状態のときにも有効にできます。ただし、レジストリキーのリダイレクトはコンピュータが再起動されても有効になりません。



グレー表示されたレジストリキーはリダイレクトできません。

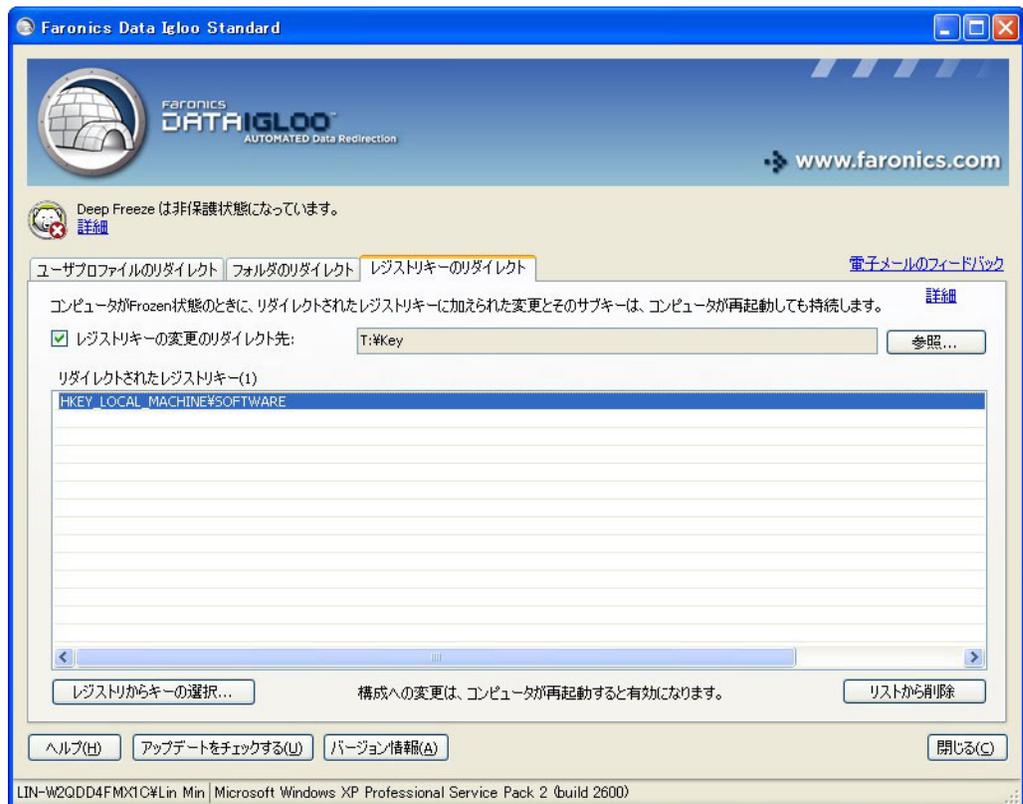


レジストリキーによっては、[レジストリキーのリダイレクト] タブに自動的に表示されるものもあります。これらのレジストリキーは Data Igloo によって使用されており、手動で削除できません。

リダイレクトされたレジストリキーの削除

Thawed 状態のレジストリキーを削除するには、以下の手順を実行します。

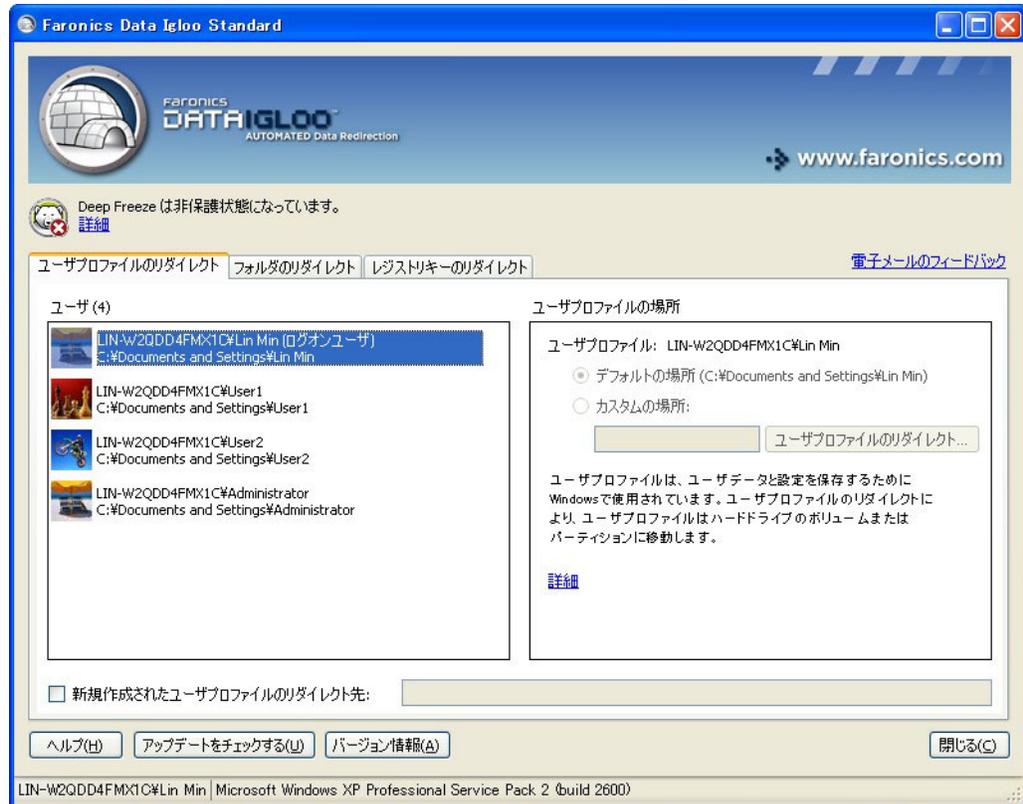
1. Deep Freeze のステータスが Thawed 状態であることを確認します。
2. [レジストリキーのリダイレクト] タブを開きます。
3. リストからレジストリキーを選択して、[リストから削除] を選択します。





Data Igloo の終了

Data Iglooを終了するには、タイトルバーの[閉じる]アイコンをクリックします。または、[閉じる]ボタンをクリックします。



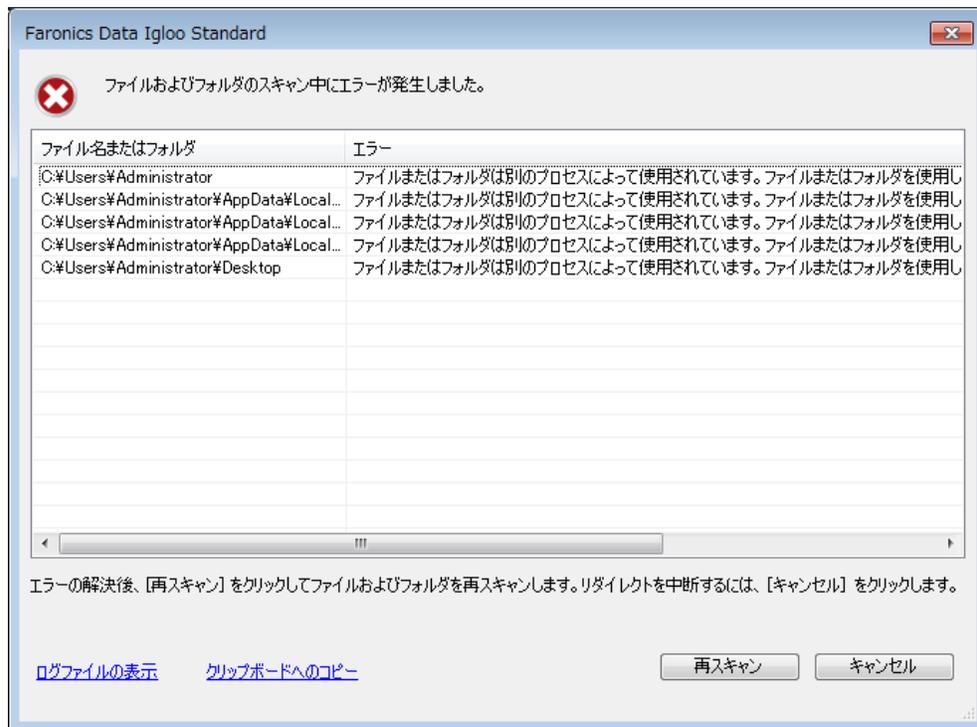
Data Igloo のイベントの記録

Data Igloo には、イベントを記録して表示する方法が2つあります。Data Igloo エラーダイアログとログファイルです。ログファイルは Data Igloo によって実施されたアクションのイベントを記録します。

Data Igloo エラーダイアログ

Data Igloo エラーダイアログは、例外が発生すると表示されます。ダイアログには以下のオプションが表示されます。

- ・ [ログファイルの表示] をクリックすると、ログファイルが表示されます。
- ・ [クリップボードにコピー] をクリックすると、エラーダイアログに表示された内容がクリップボードにコピーされます。この内容はワードプロセッサまたは電子メールに貼り付けできます。
- ・ [再スキャン] をクリックすると、アクションがもう一度スキャンされ、エラーダイアログが更新されます。
- ・ [キャンセル] をクリックすると、ダイアログがキャンセルされます。



Data Igloo ログファイル

ログファイルに記録されたイベントを表示するには、以下の手順を実行します。

1. C:\Program Files\Faronics\Data Igloo Standard に進みます。
2. Data Igloo.txt をダブルクリックします。
3. イベントがログファイルに表示されます。



コマンドライン

Data Igloo には次のようなコマンドラインオプションがあります。

構文:

IGC.exe/[コマンド]

Data Igloo で利用できるコマンドのリスト:

コマンド	説明
Faronics_IGS.exe /s /v/qn	サイレントインストール。
Faronics_IGS.exe /s /x /v/qn	サイレントアンインストール。
h help	サポートされたすべてのコマンドのヘルプを表示します。
ver version	Data Igloo コマンドラインツールのバージョンを表示します。
GetDFStatus	Deep Freeze の現在のステータス (Frozen または Thawed) を表示します。
CheckForUpdate	Data Igloo の新しいバージョンがあるかどうかをチェックします。
AutoRedirectUP </loc:><path> AutoRedirectUP </loc:><path> /RedirectDefaultandPublicProfile AutoRedirectUP [/d]	指定したパスに [ユーザープロファイルのリダイレクト] を自動で実行します。
RedirectUP <hostname\username> </loc:><newpath> [/Share /-Share] [/NTFS] /-NTFS]	指定した場所にユーザプロファイルのリダイレクトします。
RedirectUPDefault <username> [/Share /-Share] [/NTFS] /-NTFS]	デフォルトの場所に指定したユーザプロファイルのリダイレクトします。 コマンドの [/Share] と [/NTFS] スイッチはオプションです。コマンドでこれらのスイッチが提供されていない場合でも、動作はそれらが提供されている場合と同じです。



コマンド	説明
<pre>RedirectFolder <source> </loc:><target> [/NTFS] /-NTFS] [/Share /-Share] RedirectFolder <source> </loc:><target> [/d]</pre>	<p>指定したフォルダを新しいターゲットにリダイレクトします。</p> <p>コマンドの [/Share] と [/NTFS] スイッチはオプションです。コマンドでこれらのスイッチが提供されていない場合でも、動作はそれらが提供されている場合と同じです。</p>
<pre>RedirectRegKeyLocation </loc:><location> RedirectRegKeyLocation [/d]</pre>	<p>この後のすべての RedirectRegKey 操作の場所を設定します。</p>
<pre>RedirectRegKey <RegKeyPath> RedirectRegKey <RegKeyPath> [/d]</pre>	<p>RedirectRegKeyLocation コマンドで定義された場所に、指定したレジストリキーの内容をリダイレクトします。</p>

引数 / スイッチ :

<username> 特定のユーザのコンピュータ上のユーザ名。

<hostname> ドメイン名またはホスト名。

</loc:> ドライブ名またはボリューム名。例えば、D: (ドライブ) またはボリューム名になります。

<source> リダイレクトされるソースフォルダの名前。

<target> フォルダのターゲット名。

<location> レジストリでの場所。

<RegKeyPath> レジストリでのレジストリキーのパス。

[NTFS] フォルダ許可をターゲットにコピーします。

[Share] 共有許可とフォルダのプロパティをターゲットにコピーします。

[-NTFS] はフォルダ許可をターゲットにコピーしません。

[-Share] はフォルダの共有許可とプロパティをターゲットにコピーしません。

[d] 特定のコマンドとともに使用すると、操作が逆転されます。

例

John というユーザのプロファイルを E: ドライブにリダイレクトするには、以下の構文を使用します。

```
IGC.exe /RedirectUP FARONICS\john /loc:E:\user
```

C:\Documents というフォルダを E: ドライブにリダイレクトするには、以下の構文を使用します。

```
IGC.exe /RedirectFolder C:\Documents /loc:E:\
```





Data Igloo のアンインストール

本章では、Data Igloo のアンインストール方法について説明します。

トピック

[インストーラを使った Data Igloo のアンインストール](#)

[Windows の \[プログラムの追加と削除\] を使った Data Igloo のアンインストール](#)



インストーラを使った Data Igloo のアンインストール

Data Igloo をアンインストールするには、以下の手順を実行します。

1. Faronics_IGS.exe をダブルクリックします。[次へ] をクリックします。



2. [削除] を選択します。[次へ] をクリックします。





3. [削除] をクリックします。



4. Data Igloo がお使いのコンピュータから削除されます。[完了] をクリックして、アンインストールを終了します。





Windows の [プログラムの追加と削除] を使った Data Igloo のアンインストール

Windows の [プログラムの追加と削除] を使って、Data Igloo をアンインストールするには、以下の手順を実行します。

1. [スタート] > [コントロールパネル] > [プログラムの追加と削除] の順にクリックします。
2. Data Igloo を選択します。
3. [削除] をクリックします。



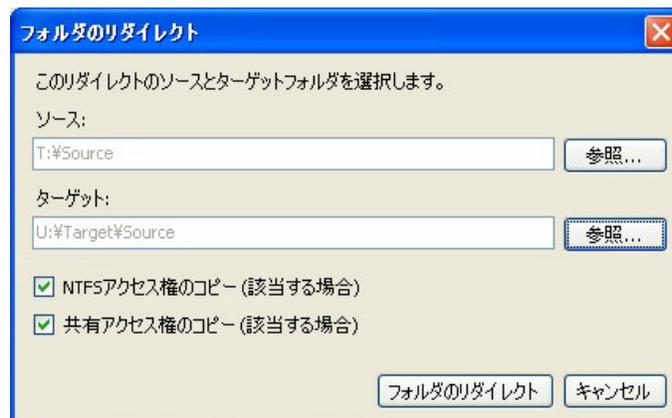
付録 A 非表示の ThawSpace へのリダイレクト

ThawSpace はプログラムの保管、ファイルの保存、恒久的な変更などに使われる仮想パーティションです。ThawSpace に保存されたすべてのファイルは、コンピュータが Frozen 状態であっても、再起動後に維持されます。

Deep Freeze では非表示の ThawSpace を作成できます。非表示の ThawSpace は Windows Explorer には表示されません。非表示の ThawSpace は、[スタート] > [ファイル名を指定して実行] > [ドライブ文字] によりアクセスできます。

Data Igloo でフォルダのリダイレクトを行う前に、Deep Freeze のステータスが非保護状態であることを確認します。

どの非保護スペースが非表示か明らかな場合は、[[フォルダの新規リダイレクト](#)] の手順に従い、ターゲットフィールドにフォルダのパスを入力し、非保護スペースにフォルダをリダイレクトします。



どの非保護スペースが非表示か明らかでない場合は、Data Igloo のブラウズボタンを使ってフォルダのリダイレクトを行う前に、非保護スペースを [表示] に設定します。非保護スペースを [表示] に設定するには、以下の手順を実行します。

1. ワークステーションで Deep Freeze を開きます。
2. [非保護スペース] タブに移動します。
3. Windows Explorer で、現在表示されていないドライブ文字の [表示] チェックボックスを選択します。
4. [OK] をクリックします。
5. ログアウトした後に再度ログインし、コンピュータを再起動します。

非保護スペースが Windows Explorer で表示されたら、Data Igloo のブラウズボタンで [フォルダの参照] ダイアログでフォルダを選択し、[[フォルダの新規リダイレクト](#)] の手順に従います。



フォルダのリダイレクト完了後、非保護スペースを再度非表示にすることができます。非保護スペースを非表示に設定するには、以下の作業を行ってください。

1. ワークステーションで Deep Freeze を開きます。
2. [非保護スペース] タブに移動します。
3. Windows Explorer で現在表示されているドライブ文字の [表示] チェックボックスの選択を解除します。
4. [OK] をクリックします。
5. ログアウトした後に再度ログインし、コンピュータを再起動します。



付録 B イメージングに基づいてインストールする場合の最適の方法

要件：この例を実行する場合は、Sysprep を使ったイメージングについての知識が必要です。詳細は、[http://technet.microsoft.com/en-ca/library/cc766049\(v=ws.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/en-ca/library/cc766049(v=ws.10).aspx) を参照してください。

ワークステーションのイメージングは、ワークステーションソフトウェアとオペレーティングシステムの設定を複数のワークステーションに展開する一番早い方法の1つです。1台のコンピュータの特別なイメージを作成してそれを復元することは、システムの再設定が必要ないため、簡単なプロセスです。ただし、ビジネス環境においては、マスターイメージの目的は複数のコンピュータで展開することなので、コンピュータ名、ユーザ SID などのシステムに特有の情報を削除するために、設定や一般化が必要になります。マスターイメージは通常特定のシステム設定とインストールされたソフトウェアによりカスタマイズされています。インストールされた Deep Freeze および Data Igloo を使って、マスターイメージをカスタマイズするために推奨される方法は以下のとおりです。

1. *WindowsAIK* で Windows のシステムマネージャを使って、Windows の無人インストールのために .xml 応答ファイルをカスタマイズします。
2. リファレンスコンピュータに最新の Windows システムをインストールします。
3. インストールされたばかりのシステムでユーザ名を設定する前に、Ctrl-Shift-F3 キーを押して、システムを監査モードで再起動します。または、マスターイメージでユーザを作成するために、Windows のインストールを完了して、必要なすべてのユーザを作成し、Windows Sysprep ユーティリティを使って、システムを監査モードで再起動します。システムが監査モードで再起動したら、さらにカスタマイズを行えます。
4. 監査モードでは、必要なすべてのカスタマイズとソフトウェアのインストールができます。これには、Deep Freeze ワークステーションと Data Igloo も含まれます。この時点ではまだ Data Igloo でユーザ、フォルダ、レジストリのリダイレクトを設定しないでください。
5. この手順では必要なすべてのスクリプトのみを設定します。必要なすべてのスクリプトソリューションを作成し、無人インストールを実行する Windows Sysprep を設定します。イメージを展開した後の最初の再起動で自動的に実行されるように、スクリプトを設定します。スクリプトはドライブ文字を再割り当てしたり、Data Igloo のコマンドラインツールである *IGC.exe* を使用するスクリプトを実行するように設定できます。スクリプトはユーザ、フォルダ、レジストリのリダイレクションを行うように設定できます。これにより、新しくイメージングしたシステムで、必要なすべてのカスタマイズ（マスターイメージだけでは不可能）が自動的に行われます。
6. Deep Freeze ワークステーションの設定にクローンフラグの設定を追加します。これにより、Deep Freeze は新しくイメージングしたシステムで Thawed モードで起動します。そのため、すべてのカスタマイズが永久的に維持されます。



7. [OOBE]、[一般化]と[シャットダウン]オプションを使って Sysprep を実行します。これにより、リファレンスコンピュータでシステムが一般化され、自動的にシャットダウンします。
8. ディスクイメージングツールを使って、リファレンスコンピュータのイメージをキャプチャします。これにより、一般化されたマスターイメージが作成され、そのマスターイメージを複数のコンピュータでさらに展開できます。



リファレンスイメージを一般化する前に Data Igloo を設定しないでください。これを行うと、Thawed ユーザとフォルダにアクセスできなくなり、Thawed レジストリが正しくモニターされなくなる可能性があります。また、イメージングの前にフォルダやレジストリキーをリダイレクトすると、イメージング中にジャンクションリンクが切断される可能性があります。



付録 C リアルパーティションにユーザプロファイルをリダイレクトする例

この例では、Data Igloo を使って、John Smith というユーザをリアルパーティションにリダイレクトする方法を説明します。

C: ドライブが Frozen 状態の場合、ユーザデータは再起動時に失われます。ユーザデータが失われないようにするには、Data Igloo を使って、ユーザプロファイルを常に Thawed 状態のリアルパーティション（例えば、E: ドライブなど）にリダイレクトします。

C: ドライブから E: ドライブにユーザプロファイルをリダイレクトするには、以下の手順を実行します。

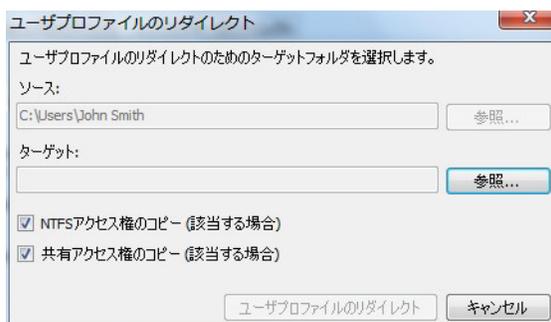
1. Deep Freeze をコンピュータにインストールします。この例は、Deep Freeze Standard と Deep Freeze Enterprise（ワークステーション）のどちらにも当てはまります。C: ドライブのみが Frozen 状態になっていることを確認してください。
2. Thawed 状態で再起動します。
3. Data Igloo をインストールします。
4. Data Igloo を起動します。

[ユーザプロファイルのリダイレクト] タブで「John Smith」を選択します。[カスタムの場所] と [ユーザプロファイルのリダイレクト] をクリックします。

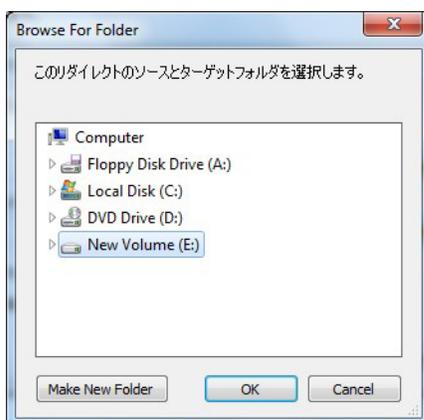




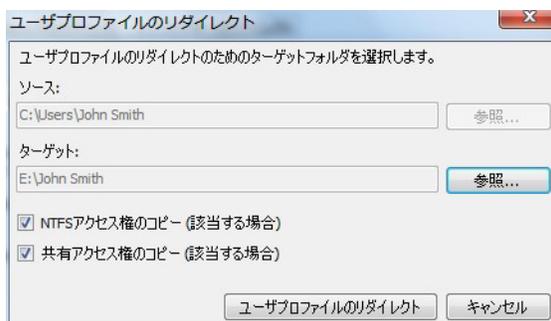
5. ソース (C:\Users\John Smith) が自動的に選択されます。[参照] をクリックして、ターゲットを探します。デフォルトで [NTFS アクセス権のコピー] と [共有アクセス権のコピー] が選択されています。



6. E: ドライブを選択して、[OK] をクリックします。



7. ユーザプロファイルの場所がこれで選択されます。[ユーザープロファイルのリダイレクト] をクリックします。

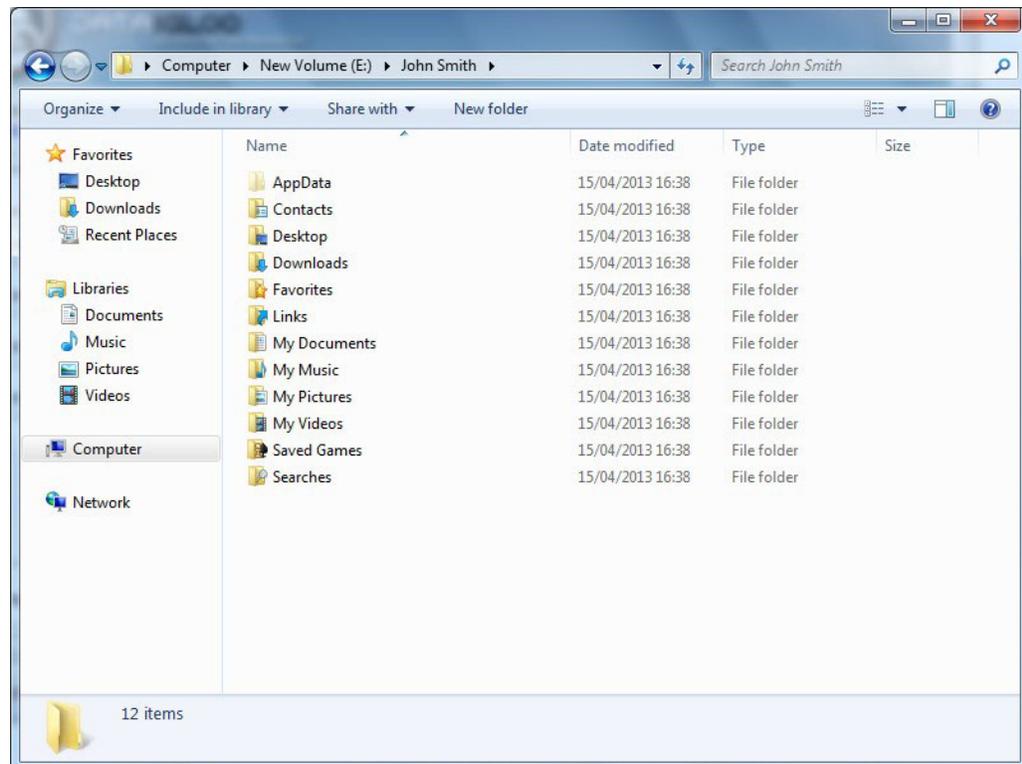




8. John Smith のユーザプロファイルがこれで E: ドライブにリダイレクトされます。



リダイレクトが正常に行われたかどうかを確認するには、E:/John Smith を開くと、フォルダの内容が表示されます。







付録 D リアルパーティションにプログラムをリダイレクトする例

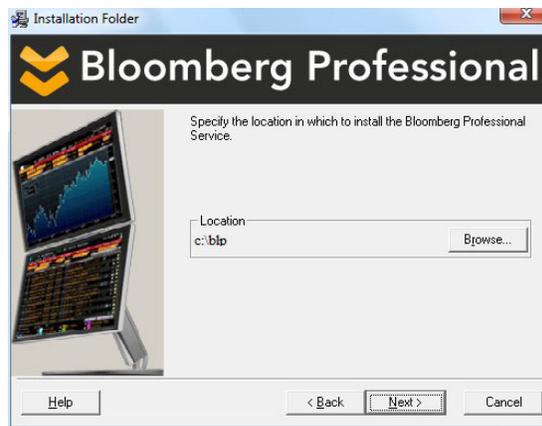
デフォルトで Bloomberg Professional が C: ドライブにインストールされています。Bloomberg ではデータも C: ドライブに保存されます。Deep Freeze を使用するコンピュータでは、デフォルトで C: ドライブが Frozen 状態になっており、再起動時にデータが失われます。Bloomberg は C: ドライブ以外のドライブ（例、D: や E: などの Thawed ドライブ）にインストールできます。ソフトウェアのアップデートがある場合、システムファイルが Thawed ドライブにインストールされるため、再起動時にこれらのシステムファイルが維持されます。ただし、一部のソフトウェアアップデートはレジストリキーも更新します。レジストリキーは C: ドライブにあるため、再起動時に更新が失われます。

この問題の解決策は、プログラムを Thawed パーティションに移動することです。プログラムの移動には以下の 2 つの操作が必要です。

- フォルダのリダイレクト？ Thawed ドライブにプログラムファイルのリダイレクトするため。
- レジストリキーのリダイレクト？ 特定のプログラムのレジストリキーを非 Frozen ドライブにリダイレクトするため。

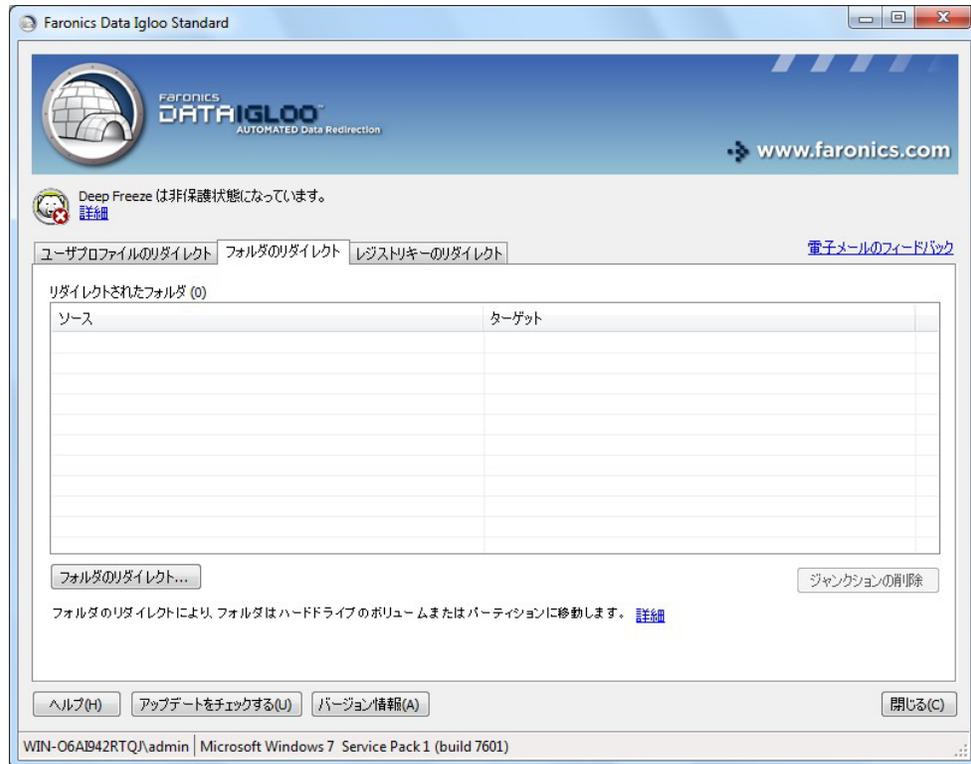
プログラム（フォルダとレジストリキー）を Thawed ドライブにリダイレクトするには、以下の手順を実行します。

1. Deep Freeze をコンピュータにインストールします。この例は、Deep Freeze Standard と Deep Freeze Enterprise（ワークステーション）のどちらにも当てはまります。C: ドライブのみが Frozen 状態になっていることを確認してください。
2. Thawed 状態で再起動します。
3. Data Igloo をインストールします。
4. C: ドライブにデータを保存するプログラムをインストールします。この例では、デスクトップアプリケーションの Bloomberg を選びました。デフォルトの場所に Bloomberg をインストールします。デフォルトでは、C:\b1p にインストールされます。

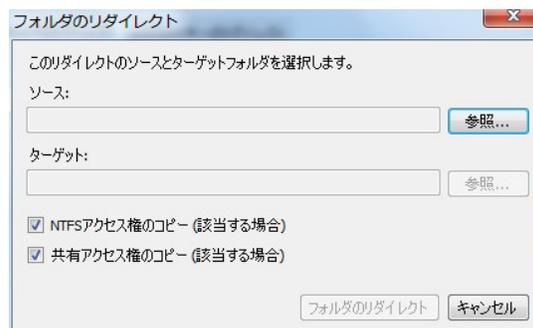




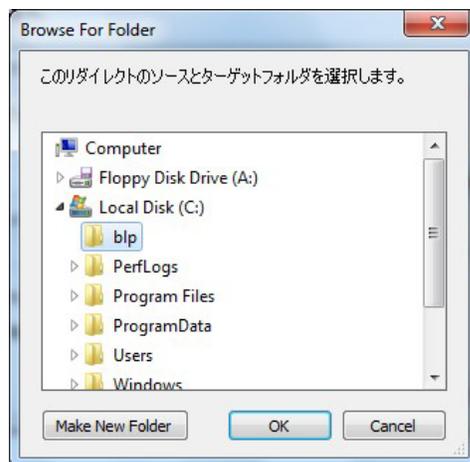
5. Data Igloo を起動して、[フォルダのリダイレクト] タブをクリックします。



6. [フォルダのリダイレクト] をクリックします。

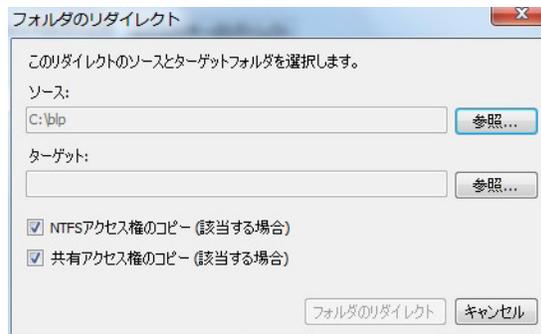


7. [参照] をクリックして `C:\b1pE` を選択し、[OK] をクリックします。

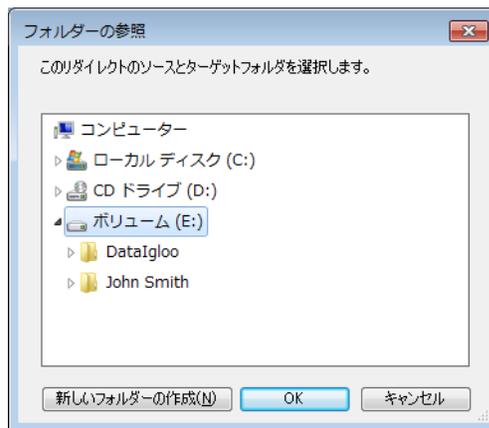




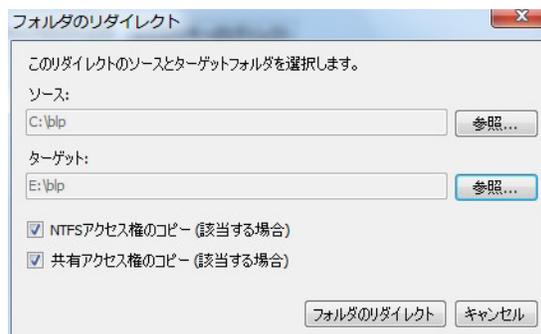
8. ソースパスが選択されます。[参照]をクリックして、ターゲットを探します。



9. [参照]をクリックして E: ドライブを選択し、[OK]をクリックします。



10. これでターゲットドライブが選択され、デフォルトで [NTFS アクセス権のコピー] と [共有アクセス権のコピー] が選択されています。[フォルダのリダイレクト] をクリックします。

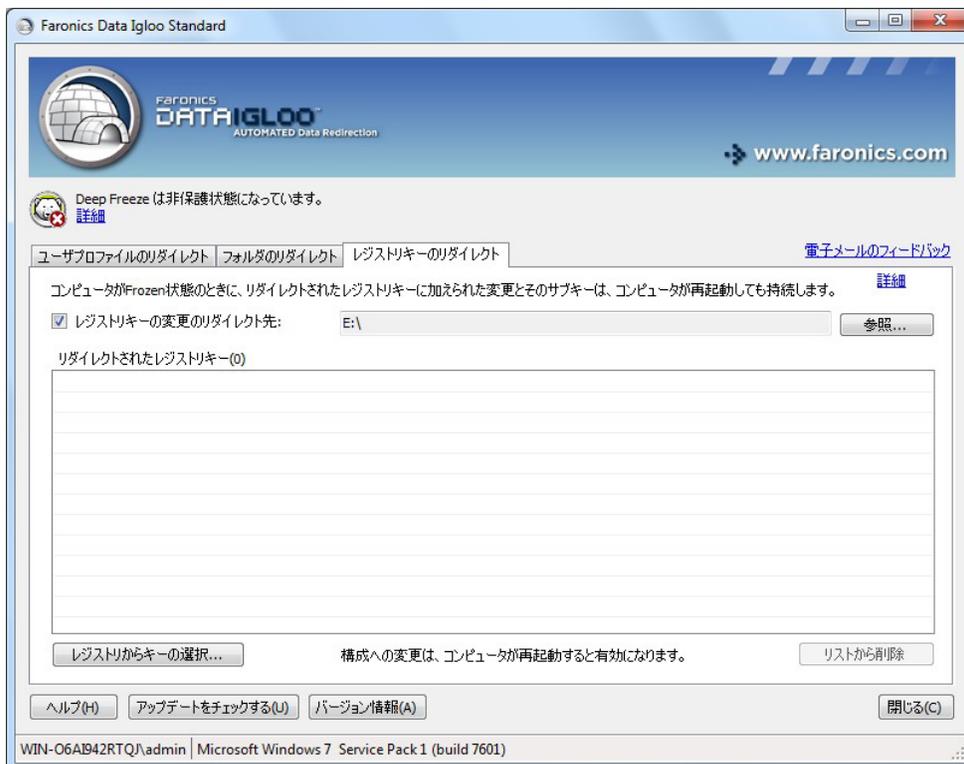




11. フォルダのリダイレクトが完了します。

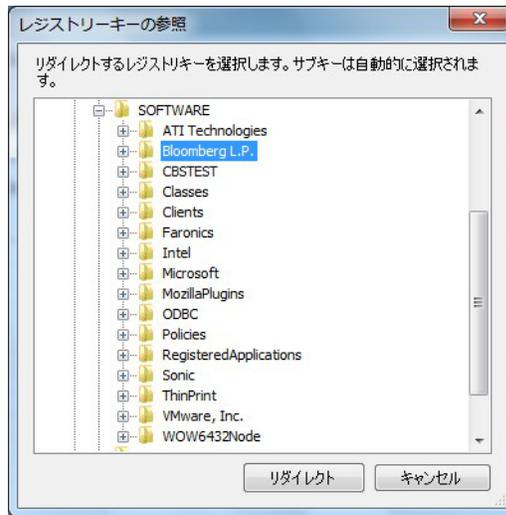


12. [レジストリキーのリダイレクト] タブをクリックします。[レジストリキーの変更のリダイレクト先] を選択し、[参照] をクリックして E: ドライブを選択します。[レジストリからキーの選択] を選択します。

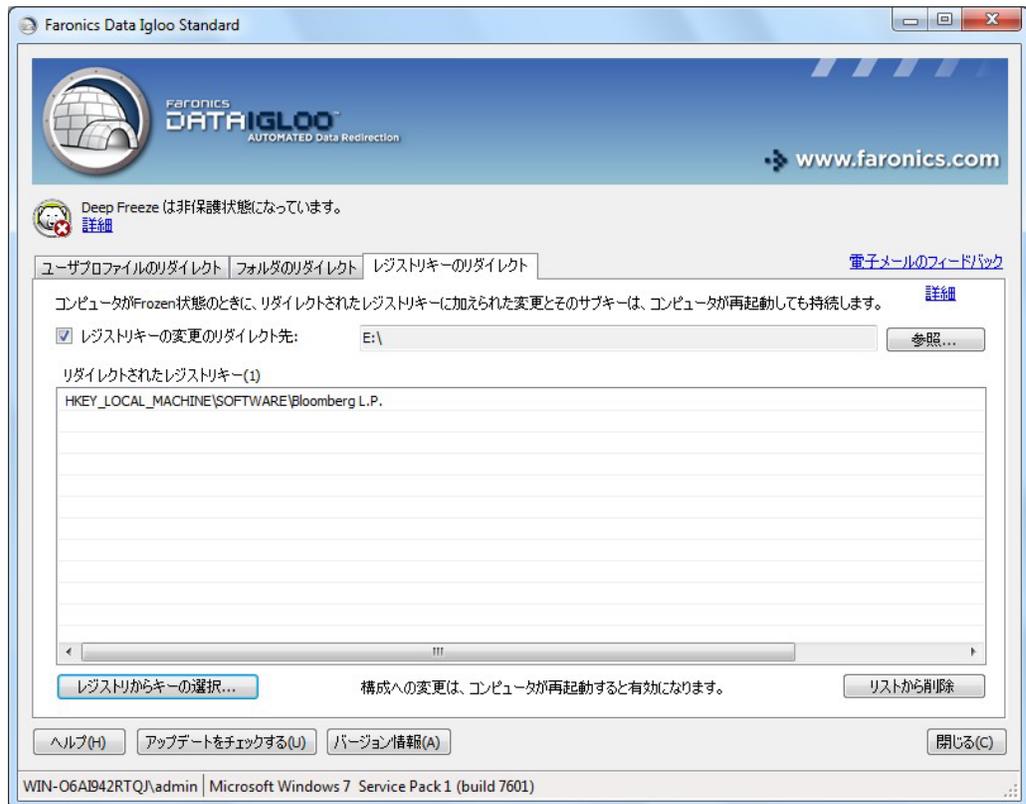




13. [参照] をクリックして、HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Bloomberg L.P. を選択します。[リダイレクト] をクリックします。



14. Bloomberg のレジストリキーがこれで E: ドライブにリダイレクトされます。



これで Bloomberg のデータが E: (Thawed ドライブ) に保存できるだけでなく、C: ドライブが Frozen 状態のときに、何度再起動しても、プログラムの更新を維持できます。





付録 E Data Igloo と Microsoft Security Essentials の使用

アンチウイルスまたはアンチマルウェアプログラムを使用する場合、ウイルス定義をコンピュータに保存する必要があります。コンピュータが Deep Freeze で保護されていると、再起動時に定義が失われる可能性があります。ウイルス定義以外にも、設定、スキャン履歴、およびユーザに関連するその他のデータを保存しなければなりません。アンチウイルスプログラムによっては、自己防衛メカニズムのために、C: ドライブからフォルダの変更を許可しないものもあります。

解決策としては、まずフォルダを作成し、Data Igloo を使ってリダイレクトし、最後にアンチウイルスプログラムをインストールする方法があります。

以下の例は、Data Igloo を使った、Microsoft Security Essentials のフォルダとレジストリキーのリダイレクトの手順を示します。

1. ワークステーションを Thawed 状態で再起動します。
2. MSE がインストールされていないコンピュータで、以下の新規フォルダを作成します。それらのフォルダが Microsoft Security Essentials で使用されます。

すべての Windows オペレーティングシステム :

```
C:\Program Files\Microsoft Security Client
```

XP システム :

```
C:\Documents & Settings\All users\Application  
data\Microsoft\Microsoft Security Client
```

```
C:\Documents & Settings\All users\Application  
data\Microsoft\Microsoft Antimalware
```

Windows 7 システム :

```
C:\Programdata\Microsoft\Microsoft Security Client
```

```
C:\Programdata\Microsoft\Microsoft Antimalware
```

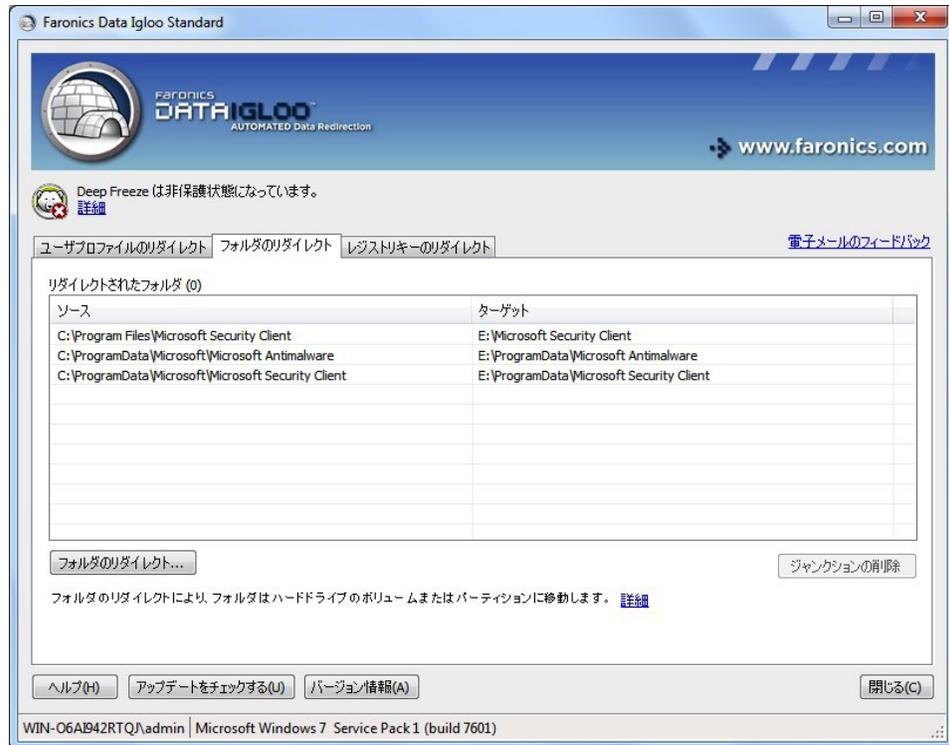
3. Data Igloo のフォルダリダイレクト機能を使って、新規作成したフォルダを Thawed 状態の場所にリダイレクトします。この例では、E: ドライブにリダイレクトします。

この例は Windows 7 の場合を示し、以下のフォルダを E: ドライブにリダイレクトします。

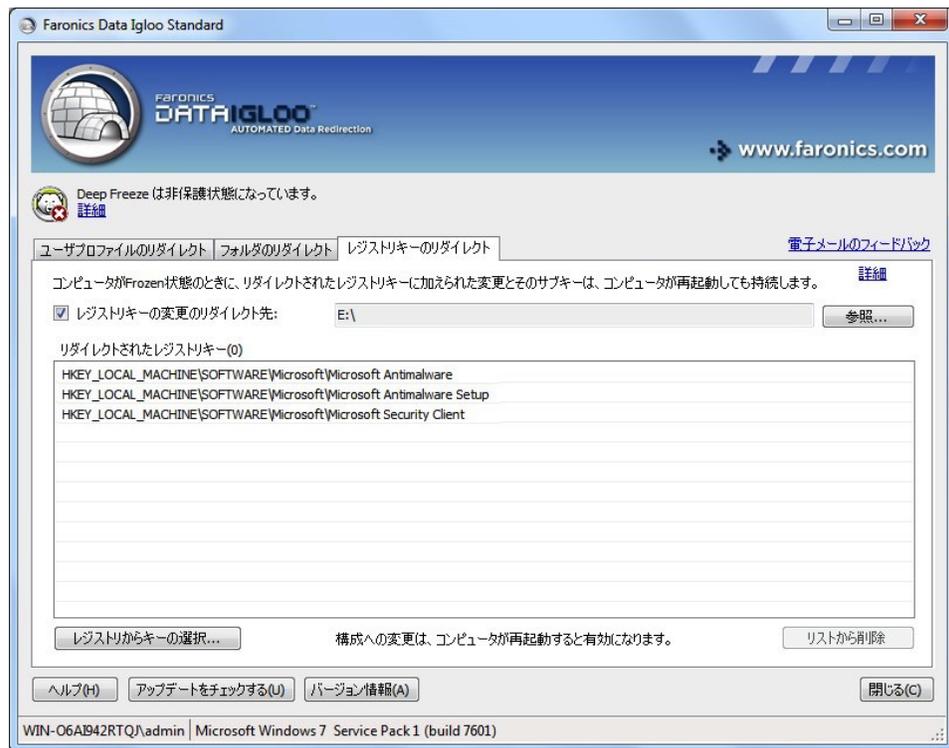
```
C:\Program Files\Microsoft Security Client
```

```
C:\Programdata\Microsoft\Microsoft Security Client
```

```
C:\Programdata\Microsoft\Microsoft Antimalware
```



4. Microsoft Security Essentials をダウンロードしてインストールします。アンチウイルスとスパイウェアの定義を更新します。
5. Data Igloo のレジストリリダイレクト機能を使って、以下のレジストリキーを Thawed 状態の場所にリダイレクトします。この例では、E: ドライブを選択しています。





6. ワークステーションを Frozen 状態で再起動します。

すべての新しいウイルス定義とスパイウェア定義、検出項目の履歴、および Microsoft Security Essentials 設定が、再起動を繰り返しても維持されます。この設定では、Microsoft Security Essentials の新しいバージョンアップデートも維持されます。



この例は Windows XP および Windows 7 のみに当てはまります。Windows 8.1 または Windows 10 バージョン 1903 の場合、Microsoft Security Essentials は Microsoft Defender の一部として組み込まれています。





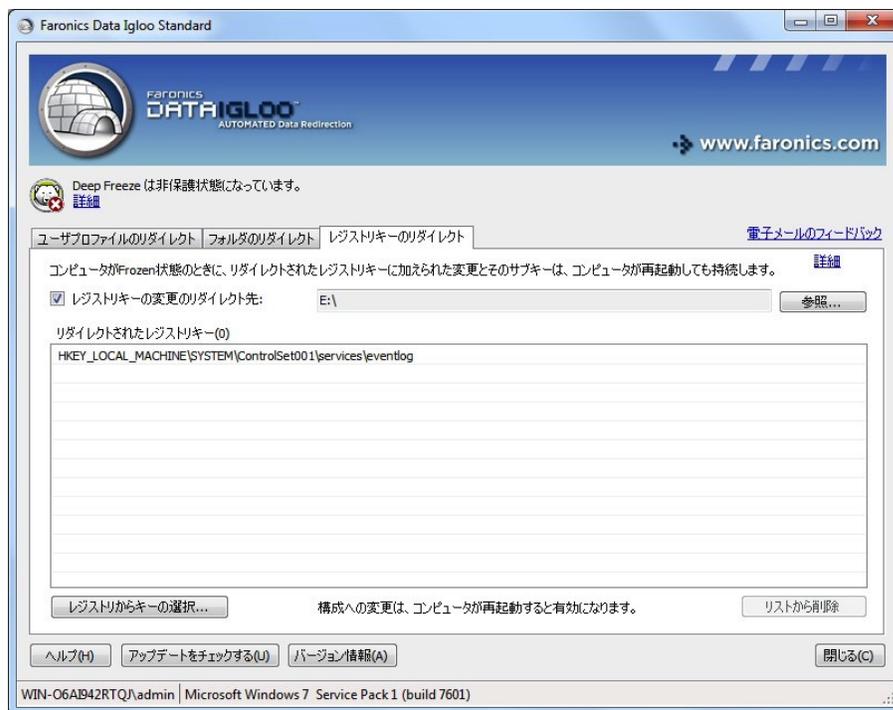
付録 F Data Igloo を使ったイベントログのリダイレクト

Deep Freeze を使って、コンピュータを保護すると、再起動時に Windows イベントログが失われます。イベントログは IT 管理者にとって貴重な情報を提供するため、維持する必要があります。

この問題の解決策として、Data Igloo を使って、イベントログのレジストリを Thawed 状態の場所にリダイレクトする方法があります。

以下の例は、Data Igloo を使った、イベントログのレジストリキーのリダイレクトの手順を示します。

1. ワークステーションを Thawed 状態で再起動します。
2. Data Igloo レジストリリダイレクト機能を使って、`HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\Eventlog` を Thawed 状態の場所にリダイレクトします。この例では、E: ドライブを選択しています。



3. ワークステーションを Frozen 状態で再起動します。

Deep Freeze が Frozen 状態のときに、再起動を繰り返しても、これですべての新規イベントログが維持されます。



Windows 7 以降の OS を実行している場合に、中央サーバーにイベントログを転送する方法については、<http://technet.microsoft.com/en-ca/library/cc748890.aspx> を参照してください。

